

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	三谷地区	回数	第4回
日時	平成31年1月20日(日) 午後1時30分～午後4時30分		
会場	三谷公民館 大集会室	参加者数	23名

### 1. 再配置プラン案について

#### 1) 案全般

公民館は現在の場所で建替えし、安全を確保した上で使い続けたい。高潮時の避難場所として使えるし、祭りの山車を引くルートが変わることによるトラブルを避けることもできるので、やはり現在の場所がよい。

- ・ 公民館は現在の場所で建替えして安全を確保し、使い続けたい。高潮時の避難場所としても今のまま維持した方がよいのではないかと。
- ・ 公民館を移転すると祭りの時に山車を引くルートが変わってしまうので、通行止めの範囲も変わるなどのトラブルが多く予想されるため、現在の場所が良い。
- ・ 公民館については八剣神社との関連（祭りの準備場所）もあり、今の場所がベストである。八剣神社と公民館はセットで考えないといけないので、現公民館はなんらかの形で残してほしい。

祭りのためには公民館が現在の位置にある方がよいと思うが、祭りは年に1回のことなので、移転してもやり方を工夫すれば対応できるのではないかと。

- ・ 祭りのためには公民館は現在の位置が良いと思っているが、年に1回のことであれば仕方ないという考えもある。各地区がバックヤードに使うスペースを別の場所に移動する等、移転したらしたでやり方はあると思う。

小学校が公民館と複合してオープンな場所になることで防犯上の問題が生じ、事件が起きないか心配だ。

- ・ 小学校と公民館の複合は防犯上の心配がある。小学校がオープンになることで痛ましい事件が起きないか心配である。

部活の規模や教育の質を保つためには、ある程度のクラス数が必要になると思うので、竹島小学校の学区変更ができないのであれば、早い段階で小学校を統合すべきではないか。

- ・ クラス数が減ると教員数も減ってしまうのでどうしても生徒へのフォローが希薄になってしまうという現場の声がある。現状で既に先生の手が足りていないため、学校を統合しないという選択はない。いまのうちにメスを入れないといけないのではないかと。

ろうか。

- ・ 竹島小の西区学区の変更などがなければ、部活の規模や教育の質を担保するために、ある程度の規模は必要で、統合すべき。
- ・ 小学校がなくなると地域コミュニティがなくなるという話もあるが、小学校を早く統合する方が三谷地区伝統を守ることに繋がる気がする。

**小学校の統合は必要だと思うが、三谷小学校と三谷東小学校のどちら側の敷地に統合するかは判断しかねる。**

- ・ もし小学校が統合するのであれば、三谷小学校の敷地か三谷東小学校の敷地かにはこだわらない。
- ・ 評価表を見ても、現状ではどちらの小学校に統合すべきか判断しかねるが、小学校の統合は必要だと思う

**小学校の統合については、子育て世代や児童の保護者の意向をアンケートなどを通じて確認する必要がある。統合されて移転する側の保護者の意見を聞くことは特に重要だ。**

- ・ A案にしるB、C案にしる、統合されて移転を余儀なくされる場合、竹島小で行ったように統合して無くなる側の学校の保護者向けにアンケート等で意向を確認する必要がある。
- ・ 子育て世代の方々は、小学校を統合すべきだと考えている人が多いと思われる。こういった方々の意見をくみ取る必要がある。

**様々な意見があるため小学校の統合はなかなか進まないのが常なので、本当に実現できるのか心配だ。統合するプランに決めた場合は、市には確固たる意志を持って推進してもらいたい。**

- ・ 様々な意見があるので小学校の統合はなかなか進まないものだと思う。少年野球チームの統合でさえ上手くいかないのだから、学校となれば更に大変だ。小学校の統合を含んだ計画が本当に進められるのか不安だ。もし統合するプランに決めたなら、市は腹をくくって推進してもらいたい。

**施設の統合や複合によって、学校のグラウンドが狭くなるのが問題ならば、向山公園をサブ的なグラウンドとして活用するという方法も考えられるのではないか。**

- ・ 統合や複合によって、学校のグラウンドが狭くなるなどの面積的な問題があるが、サブ的なグラウンドとして向山公園を積極的に使う手もある。最近の公園は遊具をなくして広く使えるように整備するのが主流になってきている。

**施設が移転された後に土地や建物が残ったり、移転後に別の施設を建てても土地が余った**

りする場合に、それらをどの様に活用するのも含めて計画する必要があるのではないか。その方針によって案の評価も変わってくると思う。

- ・ 施設が移転された後に残った建物や土地をどうするのか、移転後に別の施設を移転しても土地が余る場合に残りの土地はどうするのかといった跡地の活用について触れられていない。そういうことも含めて計画する必要があるのではないか。案に対する評価も変わってくると思う。

竹島小の学区問題などは蒲郡南地区にも関係するが、それぞれの地区の考え方があると思う。三谷地区だけでなく蒲郡南地区などの人も含めてもっと広い範囲で、公共施設の再配置を考えた方が良かったのではないか。

- ・ 蒲郡南地区でも同時期にワークショップをやっているそうだが、竹島小に通う三谷地区の児童の件など、それぞれの地区の考え方があると思うので、三谷地区だけでなく蒲郡南地区なども含めた広がりある地域の中で公共施設の再配置を考えた方が良かったのではないか。

## 2) 各案への意見

### ①A案全般（A・A1・A2案）

竹島小の学区変更ができないのであれば、統合の判断を先延ばしせずに三谷小学校に統合するのがよい。その方が通学に不便になる子どもが少ないだろう。

- ・ 学校を統合しない方がよいと思っていたが、竹島小の学区変更ができないのであれば判断を先延ばしせずに、三谷小学校に三谷東小学校を統合する案で進めるのがよい。
- ・ 三谷地区の中心近くに位置している三谷小学校に小学校を統合することで、通学に不便になる子どもがより少ないと考えられるため、三谷小学校に統合されるのはよい。
- ・ 文科省の指針等により小学校の統合がやむを得ない場合は、三谷小学校敷地に統合するA案がよい。

オープンハウス（パネル展示型説明会）のアンケート結果を見ると、三谷東小学校区の住民で三谷小学校側に統合されることに抵抗がある人はあまり多くない様なので、事業がスムーズに進むのではないかと。

- ・ オープンハウスのアンケートの結果から、三谷東小学校区に住んでいる人で三谷小学校に統合されることに抵抗する人は多くはない可能性が読み取れる。そのため、三谷小学校に統合されるA案が事業の実現性という点で好ましい。

### ②A案

2つの保育園を三谷東保育園に統合することで、現状でも少ない駐車場がさらに足りなくなり、路上駐車が増えて状況が悪化することが心配だ。

- ・ 2つの保育園を三谷東保育園への統合することによって、駐車場が今よりも少なくなってしまうので困らないか。三谷東保育園では現状でも駐車場が少なく、路上駐車も多い。統合により園児が増えて送迎の車が増加することで、今よりも駐車場問題が悪化することが予想される。

### ③A 1案

三谷東小学校の敷地に2つの保育園と中学校が統合されると手狭になるのではないか。

- ・ 三谷東小学校の敷地に2つの保育園と中学校が統合されると手狭になるという印象がある。

中学生の部活動に制約が生じる、保育園の送迎車で登校時の危険性が高まる、保育園児の活動の安全面に支障が出るなどの問題が発生すると思うので、中学校と保育園の複合化は望ましくない。もし複合するならば、それぞれの機能や利用動線を十分に分ける必要がある。

- ・ 小、中学校を保育園と一緒にすると、保育園の送迎車で登校時の危険性が高まったり、園児のお昼寝時に音が気になったりするるので、複合化は望ましくないと思う。
- ・ 中学校と保育園の複合は難しいのではないか。
- ・ 三谷東小学校跡地に中学校と保育園と一緒にすると、世代が離れすぎているため中学生の部活動に制約が生じたり、保育園児の活動の安全面に支障が出るのではないかと心配だ。中学校と保育園、それぞれの機能や利用動線は十分に分けておく必要がある。

中学校は高台にあって避難所として適していると思うので、移転するとしても避難所機能は残せるとよい。

- ・ 中学校は高台にあって避難所として適していると思う。移転される場合でも避難所機能は残せると良い。

### ④A 2案

三谷東小学校の敷地は広いので、統合した保育園だけを建てるとかなり土地が余るのではないか。残った土地の活用を考える必要がある。

- ・ 三谷東小学校の敷地は広いので、統合した保育園を建ててもかなり土地が余るのではないか。残った土地の活用を考える必要がある。
- ・ 三谷東小学校の跡地に統合した保育園だけを配置するのでは、広すぎて逆に敷地が余ってしまうのではないか。

### ⑤B・C案

三谷東小学校は地区の東寄りにあるので、西寄りに住む子供たちの通学距離が長くなって

しまう。竹島小学校の学区変更に対応できる可能性を残すためにも、三谷小学校に統合した方がよい。

- ・ 小学校を統合するとしたら、将来的に竹島小学校の学区変更に対応できる可能性を残すためにも三谷小学校に統合するべきだ。三谷東小学校の場所では通学するのに遠すぎる。
- ・ 三谷東小学校敷地に小学校を統合する案だが、2つの小学校間の距離はさほどないものの、三谷地区全体で考えると三谷小学校はまちの真ん中にあり、三谷東小学校はまちの東寄りとなる。三谷地区の西寄りに住む子ども達から見ると通学距離が長くなり、低学年には遠いので、B、C案は考えられない。

三谷小学校が三谷東小学校に統合されることに抵抗がある住民が多いと思うので、事業がスムーズに進まない可能性がある。

- ・ 三谷小学校が三谷東小学校に統合されることに抵抗を示す方が多いと予想されるため、事業の実現性が低い可能性がある。

三谷東小学校には崖地になっている所があるので、2つの小学校を統合して新たな建物ができる危険ではないか。

- ・ 三谷東小に2つの小学校を統合すると、崖地になっているところが危険ではないかと心配である。

三谷小学校よりも三谷東小学校の敷地の方が広いので、統合した際の余裕があるのがよい。

- ・ 三谷東小学校の敷地の方が広いので、統合した際に余裕がある点が良い。
- ・ 三谷小学校よりも三谷東小学校の敷地の方が広いため、統合した際に余裕がある点が良い。

コスト削減効果が高く、プロジェクトの目的を達成するという意味で優れている案なので、検討に入れる価値があると思う。

- ・ 三谷東小学校への統合案は検討から外しても良いと思っていたが、評価表のデータからコスト削減効果が高い案であることがわかった。プロジェクトの目的を達成するという意味で優れているなら、検討に入れる価値があると思う。

## ⑥C案

三谷小学校の敷地は中学校を移転するには狭すぎると思う。

- ・ 三谷小学校の敷地は狭いため、中学校が三谷小学校の場所に移転するのは難しい。
- ・ 三谷小学校の跡地に中学校を移転させるのは、敷地面積が小さすぎるため反対だ。

#### ⑦D案全般（D・D1・D2・D3案）

三谷小学校をそのまま残すならば竹島小学校の学区変更が不可欠だ。それができないならば小学校を統合せざるを得ないので、統合しない案は難しいだろう。

- ・ 三谷小学校をそのまま残すならば竹島小学校の学区変更が不可欠だ。逆に言うと、学区変更ができないならば、学校の統合をせざるを得ないのでこれらの案は難しいだろう。

竹島小の学区変更に対する保護者の意向は確認できたが、小学校の学区変更は保護者や児童の都合や要望だけでなく、地域の将来も踏まえて考えなければいけない。学区変更しても児童数の問題が解決できないならともかく、解決できる可能性があるのなら統合しない案も引き続き検討対象とすべきだ。

- ・ 竹島小の学区変更の件については、アンケートの回答結果により当事者である保護者の意向は確認したものの、本来は小学校と地域は密接につながるものであり、小学校の学区変更は学校に通う親子の都合や要望だけでなく、地域の将来も踏まえて考えなければいけない。竹島小の子ども達が三谷地区に戻ってきた場合でも学年1クラスの問題が解決しないのなら統合せざるを得ないが、戻ってくることで解決する可能性があるのであればD案を削除することに納得しない。

何年か先には児童数やクラス数がさらに減り、小学校を統合せざるを得ない状況が来るのだから、統合しない案は当面の処置、将来に向けた過程にすぎない。ライフサイクルコストの観点から考えても、早い段階で統合を検討すべきだと思う。

- ・ LCC縮減の観点からも小学校は統合すべきであると考えため、D案全般について慎重に検討すべきである。
- ・ 公共施設の再配置では何年先を見据えるのかを考えた時、D案は当面できることを考えたプランにすぎず、将来に向けた過程にすぎないのではないだろうか。
- ・ このまま継続すると学年1クラスの状態が続き、文科省の指針等により統合を余儀なくされるのであれば、この案を議論する必要はないのではないか。

#### ⑧D1案

小学校の統合の有無を現段階で決めるのは難しいと思う。現段階では2校とも残して、子どもが減って学校が成り立たなくなるという危機感が地元住民に浸透し、差し迫った問題になってから統合を検討するというのはよい考え方だと思う。

- ・ 小学校の統合をしないを現段階で決めるのは難しいのではないか。子どもが減り、学校が成り立たなくなるという危機感が地元住民にはまだない。差し迫った問題になってから統合を検討することにして、現段階では2校とも残すというのは良いと思う。

三谷小学校区には高齢者が多く、今後も子どもが増えることは期待できないので、30年後

ではなく5年、10年経てば1学年1クラスになってしまうだろう。判断を先延ばしにせず、小学校の統合を含めて施設を再編した方がよいのではないか。

- ・ 判断を先延ばしにしていることにならないか。防災の視点から考えて公民館と三谷西保育園を移転するのは急務なので、それを機に小学校の統合を含めて施設を再編した方がよいのではないか。
- ・ 差し迫っていないというが、30年後ではなく5年、10年経てば1学年1クラスになってしまうだろう。三谷小学校区には高齢者が多いので今後子どもが増えることは期待できない。学校の統合は免れないと思う。

三谷西保育園が三谷東保育園に統合されることで通園が不便になる人は、みどり保育園を利用すればよいだろう。ただしその場合には、みどり保育園の駐車場を充実させる必要がある。

- ・ 西保育園が東保育園に統合されることで通園が不便になる人は、みどり保育園を利用すればよいのではないか。
- ・ 保育園の統合によってみどり保育園に通う人が増える場合には、みどり保育園の駐車場を充実させる必要がある。現状でも駐車場が足りない。

#### ⑨D2案

ライフサイクルコストの試算を見ると、削減効果が他の案と比較して低すぎる。

- ・ コストの削減効果が低すぎる。

#### ⑩D3案

ライフサイクルコストの試算を見ると、削減効果が他の案と比較して低すぎる。

- ・ コストの削減効果が低すぎる。

児童館のすぐそばにみどり保育園があるので、近接して保育園が2つある必要性を感じない。児童館の敷地では広い園庭が取れないので、日常的な外遊びや運動会などの行事に対応できなさそうなのも心配だ。

- ・ 児童館のすぐそばにみどり保育園があるので、こんなに近接して保育園がある必要はないと思う。
- ・ 児童館に保育園を移転すると広い園庭は取れないのではないか。日常的な外遊びが十分にできなかったり、運動会などの行事ができなくなるのではないか。

現況からの変化が最も少ない点がよいと思う。

- ・ 現況からの変更が最も少ないのが良い。

## 2. 評価表について

### 1) 評価の方法

評価項目が多すぎるので、評価結果が変わらない項目は取り上げないで項目数を減らし、もっとわかりやすい評価表にしてほしい。

- ・ 評価項目が多すぎて評価表がわかりにくくなっている。評価結果が変わらない項目は取り上げないで項目数を減らし、もっとわかりやすいものにしてほしい。

案の比較評価がしやすくなるように、再配置プラン案をもう少し絞り込んでほしい。

- ・ 評価する案はもう少し絞った方が見やすいし、比較しやすくなると思う。

現状で挙げられている項目はかなり細かい事柄を評価しているが、蒲郡市全体の中での地区の特性や地区間のつながりなど、もっとマクロな視点から考えて評価する項目があってもよいのではないか。

- ・ 評価項目では費用面のほか、かなり細かい条件を挙げているが、細かい項目ばかりでなく、蒲郡市全体で見た時の地区の特性や地区間のつながりなどもっとマクロな視点で考える評価があってもいいのではないか。

三谷地区の将来像を考え、それを達成できるかという視点から評価すべきだと思う。コストの評価が占める割合が高いので、地区の将来よりも市の財政負担の軽減が重視されてしまうのではないかと心配だ。

- ・ 学校や保育園、公民館などの再編は地域にとって重要な要素であり、費用面だけでなく、数十年後の三谷地区の将来像も含めて考えるべき。
- ・ 100点中25点がコストの評価であり、将来負担の軽減で大きく評価されてしまうのは違和感がある。

どちらの小学校に統合するかを判断するためには、統合されて児童数が増えた場合でもグラウンドの面積が十分確保できるか、通学距離の遠くなる子供がどのくらいいるのかなど、もう少し詳細な検証が必要だ。

- ・ 小学校の敷地面積について、統合されて生徒数が増えた場合に十分なグラウンド面積を確保できるかという観点での評価をすべきである。
- ・ どちらの小学校に統合すべきなのかを判断するためには、統合した場合のグラウンド面積や登校距離などについてももう少し詳細な検証が必要である。
- ・ 小学校が統合される場合に、どちらに統合されると通学距離が遠くなる子どもが多いのかを検証して評価に差をつけられると良い。

## 2) 評価項目

イ

地区の伝統が保たれるかは、小学校の配置だけで判断すべきではない。祭りの拠点となる公民館が三谷小学校の位置に移転し、新たな拠点となれば伝統の継承としては十分に意味があるので、その点も評価すべきではないか。

- ・ 地区の伝統が保たれるかどうかは、三谷小学校が現在の位置に維持されれば良いというだけではない。三谷祭りの拠点である三谷公民館が三谷小学校の位置に移転されることでも、伝統の継承としては十分な意味があると言えると考えられる。

B案とC案の評価が「△」になっているが、三谷小学校の方が三谷東小学校よりも地区の中心にあるという意識はない。三谷小学校の存続にこだわっているのは世代の高い人だけではないか。

- ・ B案、C案が「△」になっているが、三谷小の方が三谷東小よりも三谷地区の中心にあるという意識はない。世代がかなり上の人だけが三谷東小よりも三谷小の存続にこだわっているのではないだろうか。

ウ

三谷小学校に公民館が移転されても八剣神社の拝殿からの距離はさほど変わらないが、参道の入口からの距離はだいぶ変わる。移転すれば現状よりも祭りの際の機能は低下するので、いずれの案でも現状と比較して低い評価になると思う。

- ・ 現在の公民館と三谷小学校移転後の公民館とを比較すると、拝殿からの距離はさほど変わらないかもしれないが、参道の入口からの距離はだいぶ変わる。いずれの案でも、参道の目の前にある現状と比較した評価は下がるべきではないか。

エ

公共施設マネジメントの議論の中で話し合っても結論が出る話ではないと思うので、評価項目として取り上げる必要性をあまり感じない。

- ・ 公共施設マネジメントの議論の中で話し合っても結論が出る話ではない。評価項目として取り上げる必要性をあまり感じない。

カ

多人数と少人数のそれぞれにメリットとデメリットがあり、一長一短ということで全て「○」の評価なのだろうが、大勢の子どもの中で競争することやクラス替えで友達つきあいを学ぶことは子どもの成長にとって大切だと思う。

- ・ 大勢の子どもの中で競争することやクラス替えで友達つきあいを学ぶことは子どもの成長にとって大切だと思うので、全ての評価が「○」なのは違和感がある。

- ・ 多人数と少人数のそれぞれにメリットとデメリットがあり、一長一短ということで全て「○」の評価なのだろう。

小学校の学習環境や活動内容の充実は、公共施設の再編によって達成できるのではなく、先生方による教育の質の向上などが要だと思うので、再配置案の評価項目にするのは違和感がある。

- ・ 小学校の学習環境や活動内容の充実は、公共施設の再編によって達成できるのではなく、先生方による教育の質の向上などが要だと思うので、再配置案の評価項目にするのに違和感がある。

キ

中学校のグラウンドの使いやすさは、面積が確保できるかだけではなく、グラウンドの形状も含めて評価してほしい。

- ・ 中学校のグラウンドの使いやすさの評価を面積確保だけでしているが、できればグラウンドの形状も含めて評価すべきではないか。

ク

国の基準ということだが、2キロは小学生には遠すぎる。どちらの小学校に統合するにせよ現状より通学が不便になる子どもがいるのだから、A～C案の評価は「△」になると思う。

- ・ 国の基準ということだが、2キロは徒歩で30分はかかるだろう。中学生でも大変なのだから、小学生には遠すぎる。全ての評価が「○」になっているが、A～C案は「△」ではないか。
- ・ 通学路の基準が2キロというのは長すぎる。
- ・ 小学校が統合される場合には、どちらの小学校に統合するにせよ現状より通学が不便になる子どもがいるため、A～C案の評価は「△」になるはずである。

日々の通学によって子ども達の体力や忍耐力が養われる面もあるので、2キロの距離が長すぎてマイナスだとは一概に言えないのではないかと。

- ・ 通学が子どもの体力づくり、忍耐力づくりにつながる部分もあるので、2キロの距離が長すぎてマイナスだとは一概に言えない。

ス

地域の子どもと大人との交流は公共施設の配置のようなハードから生まれるものではなく、ソフトの仕掛けで作るものだと思うので、評価項目にするのは疑問だ。

- ・ 子どもと地域の大人の交流はソフトの仕掛けで意図的につくるもので、公共施設の配

置のようなハードでつくるものではないと思うので、評価項目に挙げていることが疑問だ。

#### ソ・タ

全ての案の評価が一律になっているが本当にそうなのか疑問に思う。高台にある中学校が避難拠点として残るか、避難所指定されていなくても一時的に避難できる場所が近隣に確保できているかという点からも評価してほしい。たとえ公民館や中学校が移転しても、跡地に避難場所としての機能が残るのであれば問題ない。

- ・ 防災上の危険性のある公民館と西保育園が全ての案で移転され、避難所機能がこれまで通り確保されるので、全ての案の評価が一律で「◎」になっているが本当にそうなのか。高台にある中学校が避難拠点として残るかというのも評価してほしい。たとえ中学校が移転しても、跡地に避難場所としての機能が残るのであれば問題ない。
- ・ 避難所指定されていなくても一時的に避難できる場所が近隣に確保できているかも重要だ。公民館が移転されても、残った建物が避難場所として使えることが望ましい。

### 3) 項目の重要度

市の将来を長期的な視点で考えれば、公共施設再編の目的であるコスト削減は重視すべきだろう。

- ・ せっかく公共施設を再編するのだから、プロジェクトの目的であるコスト削減が達成できる様に考えるべきではないか。コストの問題は重要だ。
- ・ コストの縮減を最も重視すべきだと考える。市の将来を長期的な視点で考える必要がある。

保育園の送迎の主流は、以前は徒歩だったが今は自動車になってきている。その変化に対応できず駐車場が足りない保育園が多いので、「シ」の項目は重要だと思う。一方、徒歩での通園のしやすさをメリットと考える人は少ないと思うので、「サ」はあまり重視しなくてよいのではないか。

- ・ 最近の保育園の送迎は自動車が前提だ。徒歩通園が主流だった以前とは状況が異なっているが、園の設備がその変化に対応できておらず、駐車場が足りないのでトラブルも発生している。駐車スペースの確保は重要だと思う。
- ・ サでは保育園の徒歩での通園のしやすさを評価しているが、保育園は自動車送迎が多く徒歩での通園のしやすさをメリットと考える人は少ないだろう。項目の重要度は低い。
- ・ サの項目で徒歩での通園のしやすさを評価しているが、現状において保育園への徒歩での通園者はほとんどおらず、90%位は車で送迎している。徒歩での通園しやすさの評価はあまり重要視しなくてもよいのではないか。

### 3. その他

施設を再編する案だけでなく、現在の施設をそのまま残し長寿命化を図る案も検討すべきだ。その方がライフサイクルコストも抑えられる。

- ・ 施設を再編するA～D案以外に、現在の施設をそのまま残し、長寿命化を図る案も検討すべきだ。その方がライフサイクルコストも抑えられる。